# 安全報告書

【鉄道】







# 経営理念

アルピコグループは、信州に暮らす 人々とその素晴らしい自然環境を愛 し、「安全・安心」「便利」「快適」「楽し さ・ときめき」「知識」の提供を通じて 豊かな地域社会の実現に貢献しま す。

# アルピコ交通株式会社

この安全報告書は、2018 年度に実施した当社鉄道輸送の安全確保のための取り組み や安全の実態を取りまとめたものです。皆様のご意見・ご感想をお寄せ下さい。

# 安全報告書目次

<b>■</b> 3	安全運行の誓	い【女王報		(,5,			• • •		
1.	. 輸送の安全	確保に関す	る基本的な	考え方					• • 3
	(1)安全基	本方針							
	(2)安全行	動規範							
	(3) 2018	年度の安全方針	·安全重点施策	・行為目標					
2.	. 安全管理体	制・・・							• • 4
	(1) 安全の	確保に関する体	制						
	(2)各管理	堵等の役割							
	(3)経営責	任者による職場	<b>巛</b> 視						
	(4) 運搬	全マネジメント	催生会議						
	(5)内部監	査の実施							
3.	事故・障害	こ関する報告	<b>与 · · ·</b>						• 6
	(1) 鉄道	転事故							
	(2)輸送障	害							
	(3) インシ	デント (事故の)	化候)						
	(4) 行助	らの指導							
	(5)列車如	害等の発生							
4.	安全確保の	こめの取り約	み・・						• • 7
4.		ための取り約 iの安全対策	み・・						• • 7
4.		の安全対策	lみ ・・				• •		• • 7
4.	(1) 踏切道 (2) 車両の	の安全対策	<b>掛・・</b>				• • •		• • 7
4.	(1) 踏切道 (2) 車両の	の安全対策 安全対策 の安全対策	Edy ··						• • 7
4.	<ul><li>(1) 踏成</li><li>(2) 車両の</li><li>(3) その他</li><li>(4) 安全教</li></ul>	の安全対策 安全対策 の安全対策		• • • •					• • 7
4.	<ul><li>(1) 踏び</li><li>(2) 車両の</li><li>(3) その他</li><li>(4) 安全教</li><li>(5) 各安全</li></ul>	の安全対策 安全対策 の安全対策 宿関係	<del>7)</del>	する取り組み	· · · ·	• • • •	• •		• • 7
4.	<ul><li>(1) 踏び</li><li>(2) 車両の</li><li>(3) その他</li><li>(4) 安全教</li><li>(5) 各安全</li><li>(6) ヒュー</li></ul>	の安全対策 安全対策 の安全対策 で育関係 で運動への取り組	<del>7)</del>	する取り組み	• • • ·		• •		• • 7
	<ul><li>(1) 踏び</li><li>(2) 車両の</li><li>(3) その他</li><li>(4) 安全教</li><li>(5) 各安全</li><li>(6) ヒュー</li></ul>	の安全対策 安全対策 の安全対策 の安全対策 に育関係 に運動への取り組 マンエラーやヒー 図会等への参加	み ヤリハットに対				• • •		12
	(1) 踏成 (2) 車両の (3) その他 (4) 安全教 (5) 各安全 (6) ヒュー (7) 外部隊	の安全対策 安全対策 の安全対策 の安全対策 に育関係 に運動への取り組 マンエラーやヒー 図会等への参加	み アリハットで D <b>皆様との</b>	連携とお		• • • •	• • •		12
	(1) 踏成 (2) 車両の (3) その他 (4) 安全教 (5) 各安全 (6) ヒュー (7) 外部 ご利用のお	の安全対策 安全対策 の安全対策 の安全対策 「育関係  「運動への取り組・マンエラーやヒー・ 図会等への参加  学様、沿線の	み ヤリハットに対 D <b>皆様との</b> いただくために	連携とお		• • • •	• • •		12
	(1) 踏成 (2) 車両の (3) その他 (4) 安全教 (5) 各安全 (6) ヒュー (7) 外部隊 ご利用のお (1) 鉄道に (2) テロヤ	の安全対策 安全対策 の安全対策 の安全対策 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	み ヤリハットに対 D <b>皆様との</b> いただくために	連携とお		• • • •	• • •	•	12
	(1) 踏成 (2) 車両の (3) その他 (4) 安全教 (5) 各安全 (6) ヒュー (7) 外部 ご利用のお (1) 鉄道に (2) テロや (3) こども	の安全対策 安全対策 の安全対策 の安全対策 「育関係 ・・マンエラーやヒー・ 習会等への参加  字様、 治線の 親しみを持って ・ 列車妨害行為等	み ヤリハットに対 D <b>皆様との</b> いただくために	連携とお		• • •	• •	•	• 12
	(1) 踏成 (2) 車両の (3) その他 (4) 安全教 (5) 各安全 (6) ヒュー (7) 外部隊 ご利用のお (1) 鉄道に (2) テロヤ (3) こども (4) 踏成師	の安全対策 安全対策 の安全対策 の安全対策 で有関係 でプンエラーやとで 習会等への参加  本で、治線の 親しみを持ってい 列車が害行為第 5110番の駅	み ヤリハットに対 D <b>皆様との</b> いただくために	連携とお		• • •	• • •	•	12
	(1) 踏成 (2) 車両の (3) その他 (4) 安全教 (5) 各安全 (6) ヒュー (7) 外部 ご利用のお (1) 鉄道に (2) テロや (3) こども (4) 踏成 (5) 線路へ	の安全対策 安全対策 安全対策 の安全対策 「高関係 「運動への取り組・マンエラーやヒー」 習会等への参加  本は、	み ヤリハットに対 D <b>皆様との</b> いただくために	連携とお		• • •	• • •	•	12

#### ■安全運行の誓い【安全報告書の公表にあたって】

皆様には、毎日の暮らしの中でアルピコ交通をご利用いただき、誠にありがとうございます。言うまでもなく、運輸事業に課せられた使命は、必要なすべての法令を遵守した『安全・安心』な輸送の提供であり、ご利用いただくお客様にはもちろんのこと、周囲の他の自動車や自転車、歩行者の皆様に対しても、安全で安心な存在でなくてはなりません。当社は【安全はすべてに優先する】 を安全方針として掲げ、全従業員がそれぞれの立場で、安全輸送の提供のために日々の業務に臨んでおります。

業務知識を深めるため、年間を通じて各種の教育研修を実施しておりますが、実施した 内容は振り返りを行い、改善点を見出して次年度に活かし、よりレベルアップできるよう 取り組みを進めております。また、業務内容についても、慣例にとらわれず、時代に即し、 迅速、柔軟に改善を図っております。

そして、当社の事業は、運送業であると共に接客サービス業である、という観点より、 お客様に気持ちよくご利用いただくための「きちんとした身だしなみ」、「明るいあいさ つ」、「ていねいな言葉遣い」の 3 点について、全従業員がその重要性を理解し、実践 できるようにならなければならないと考えております。

お客様の生命をお運びさせて頂いているという事実を、全社員が心にとどめ、日本一安 全な鉄道会社を目指してまいります。

本報告書は、鉄道事業法第 19 条の 4 に基づき、主に 2018 年度に実施した鉄道輸送の 安全のための取組みを、皆様に広く紹介するために作成いたしました。

本報告書をご一読いただき、当社の「安全への取組み」について、忌憚のないご意見、ご感想をお聞かせくださいますようお願い申しあげます。



アルピコ交通株式会社 代表取締役社長

三澤 洋一

## 1. 輸送の安全確保に関する基本的な考え方

アルピコ交通では、当社の経営理念でもある『安全・安心』なサービスの提供を第一に 考え、輸送の安全を確保するための基本的な姿勢を示した「安全基本方針」及びその行動 の基本となる「安全行動規範」を定め、役職員に周知・徹底し、安全輸送に努めています。

#### (1)安全基本方針

安全第一の意識をもって事業活動を行える体制の整備に努めるとともに、鉄道施設、 車両及び職員を総合活用して輸送の安全を確保します。

#### (2)安全行動規範

- ① 一致協力して輸送の安全確保に努めること。
- ② 輸送の安全に関する法令及び規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- ④ 職務の実施に当たり、憶測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをすること。
- ⑤ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとること。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦すること。

#### (3) 2018 年度の安全方針・安全重点施策・行為目標

2018 年度は次の安全方針・安全重点施策・行為目標を掲げ、全従事員に周知して目標達成に向け取り組みました。

◎安全方針

「安全はすべてに優先する」〜安全輸送を追求し、お客様に安心を提供する〜

◎安全重点施策

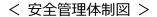
有責による事故・インシデントのゼロ達成

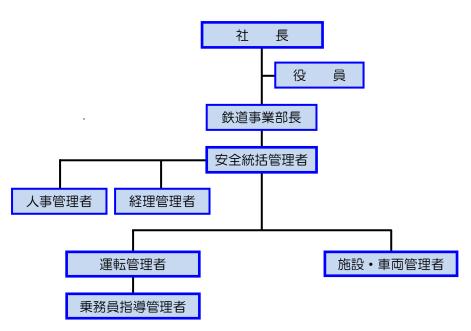
- ◎行為目標
- ・自らを守る基本動作・作業手順・指差喚呼を確実に
- ・危険予知に活かすヒヤリハットの有効活用
- ・情報共有を図る報告・引継ぎは漏れなく迅速、正確に

# 2. 安全管理体制

#### (1)安全の確保に関する体制

当社では、社長をトップとする安全管理体制を構築・運用しています。この組織体制の中で、社長や安全統括管理者、各管理者等の責務を明確にしたうえで、各々が安全確保のための役割を担っています。





#### (2) 各管理者等の役割

役 職 名	役割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
鉄道事業部長	安全統括管理者と一体となり、輸送の安全の確保に関す
<u> </u>	る業務を統括する。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括す
连松日华日	る。
   施設・車両管理者	安全統括管理者の指揮の下、施設・車両に関する事項を
心政・半回日珪石   	統括する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事
未初 <b>只</b> 旧等日廷日	項を管理する。
人事管理者	要員計画を検討する。
経理管理者	予算計画、投資計画を検討する。

#### (3)経営責任者による職場巡視

経営責任者による職場巡視を定期的に行い、安全管理体制の状況を確認するとともに、現業職員との意見交換を実施してコミュニケーションを図っています。



経営責任者による職場巡視

#### (4)運輸安全マネジメント推進会議

鉄道運輸安全マネジメント推進会議を四半期ごとに 開催し、輸送の状況や運転事故・輸送障害・ヒューマ ンエラー・ヒヤリハット事案について討議するととも に、四半期毎の安全重点目標を周知することにより、 安全管理を行っています。



運輸安全マネジメント推進会議

#### (5) 内部監査の実施

安全管理体制の適合性及び有効性を確認するため、 経営管理部門及び現場部門に対する内部監査を実施し ています。

2018 年度は、社長及び安全統括管理者等の経営管理部門に対しインタビューによる監査を実施した他、現場各部門についてはインタビュー及び関係書類の監査を実施いたしました。

安全管理体制は、計画(Plan)⇒実行(Do)⇒評価(Check)⇒見直し改善(Act)の体制(PDCA サイクル)を維持していくことが大切です。安全管理体制については現行の体制を是とするのではなく、経営計画とともに、常に見直し改善に取り組んでいます。



経営管理部門に対する内部監査



PDCA サイクルとは、Plan(計画)・Do(実行)・Check(評価)・Action(改善)を繰り返すことによって、管理業務を継続的に改善していく手法のことです。

## 3.事故・障害に関する報告

#### (1) 鉄道運転事故

2018年度、鉄道運転事故の発生はありませんでした。

年 度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
事故件数	0	0	0
死傷者	0	0	0
うち死亡者	0	0	0

#### (2)輸送障害

2018年度は、輸送障害が2件発生しました。

ご利用のお客様には大変ご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

項目	輸送障害の内容			
	○2018 年 8 月 11 日、新島々停車中車両の制輪子が欠落して			
	いたため、当該車両の運行を取り止めた。			
車両故障	○2019 年 2 月 4 日、新島々発松本行列車が新島々駅〜渕東間			
	で速度が上がらなくなったため運転を取り止めた。			

#### (3) インシデント (事故の兆候)

インシデントの発生はありませんでした。

#### (4) 行政からの指導

国土交通省からの行政指導はありませんでした。

#### (5)列車妨害等の発生

列車妨害行為等の発生はありませんでした。

交通安全と列車妨害行為の禁止を目的として、小学生を対象とした「電車の乗り方教室」を開催し、参加されたお子様に事故防止講話を行っています。



教育用DVD



専用列車運行

## 4. 安全確保のための取り組み

#### (1) 踏切道の安全対策

上高地線内の踏切数は54箇所あり、踏切の種別内訳は下記のとおりです。

・第1種踏切道(警報機・遮断機付き) 47箇所

・第3種踏切道(警報機付き) 1箇所

・第4種踏切道(警報機・遮断機無し) 6箇所

当社では、踏切道の安全対策として下記の取り組みを行っています。

#### ① 踏切の事故防止対策

万が一の際、列車運転士へ踏切の異常を通報する「踏切支障報知装置」を順次 設置しています。2018 年度は4箇所の踏切に設置しました。

·踏切支障報知装置設置踏切数 (2019年3月31日現在24箇所)



非常ボタン式



ミリ波式

#### ② 踏切視認性向上

道路からの視認性向上および警報中の踏切横断の防止を目的として、全方向型警報灯やオーバーハング型警報機等を導入しています。



全方向型警報灯



オーバーハング型警報機

#### ③ 警戒視認性向上

警報中の踏切及び列車接近中の第4種踏切への誤進入防止を目的として反射材付 垂れベルトや注意喚起看板を設置しています。



反射材付垂れベルト



注意喚起看板

#### (2) 車両の安全対策

#### ① 安全設備

事故災害・トラブル等により駅間で停車した場合に、お客様に安全に降車していただくため、避難はしごを搭載しているほか、ホームと車両連結部の隙間からお客様が転落するのを防止するため、転落防止用外幌を取り付けています。



避難はしご



転落防止用外幌

#### ② 車両検査

鉄道車両の故障を未然に防止して安全かつ安定した列車運行を行うため、定期的 な点検整備を実施しています。



床下機器整備作業



運転台機能検査

#### (3) その他の安全対策

#### ① ホームの安全対策・バリアフリー改修工事

ホームでお待ちのお客様が線路に転倒したり、列車と接触したりすることを防止するため内方線付点状ブロック等の整備の他、すべてのお客様に安全に安心してご利用いただけるようバリアフリー改修工事を実施しています。



内方線付点状ブロック



バリアフリー改修工事

#### ② サービス介助士・あんしん電車

ご高齢のお客様やお身体の不自由なお客様に対して、安心してご利用いただけるようにサービス介助士の資格を取得(2019年3月31日現在13名)させています。また、一部列車を『あんしん電車』としてアテンダントを添乗させ、交通弱者のお客様の乗降サポート等を行い、ご安心して公共交通をご利用いただけるようサービスに努めています。

※サービス介助士とは、「公益財団法人日本ケアフィット共育機構」が認定する資格で、介助に関する正しい知識と技術を学んでいる者です。



サービス介助士資格者バッジ



アテンダントによる乗車券販売

#### (4)安全教育関係

異常発生時等に適切な対応ができるよう、様々な異常事態を想定した訓練を実施し ています。2018 年度はテロ発生対応訓練、地震対応訓練の他、自動車との衝突を想 定し、関係機関が綿密な連携を図り、人命救助を最優先に迅速かつ的確な初動体制を 整えられるよう対応力向上を目的とした事故対応合同訓練を実施しました。

施設保守部門では、協力会社を含めた合同安全講習会を開催し、事故や労働災害等 の事例研究を行い事故防止に努めています。



事故対応合同訓練



合同安全講習会

#### (5) 各安全運動への取り組み

- ・春の全国交通安全運動
- ・安全輸送・サービス向上強化旬間
- ・秋の全国交通安全運動

2018年4月 6日~4月15日 7月13日~7月23日

9月21日~9月30日

・年末年始の輸送に関する安全総点検 12月10日~2019年1月10日

各安全運動を契機に、従業員一人ひとりが各職場で何をすべきかを再考すること で、輸送の安全性の向上に努めるよう意識の高揚を図りました。

また、各安全運動中は、経営責任者が職場を巡視し、実施状況の確認や指示を行 いました。

各運動中の主な取組事項は、次のとおりです。

- ・テロ、列車妨害防止対策による車両、施設、沿線の巡回強化
- ・車両、線路設備、構造物、電気設備の点検整備
- ・利用客乗降時の監視等安全確保の徹底
- ・確実かつ厳正な点呼執行(健康状態、アルコールチェック、指示事項)
- ・規程類の学習、非常・故障訓練の実施
- ・基本動作の再確認及び徹底
- ・経営責任者による職場巡視

#### (6) ヒューマンエラーやヒヤリハットに対する取り組み

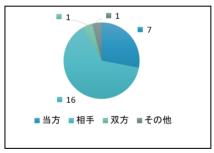
ヒューマンエラーやヒヤリハットが発生した際は、関係者より報告書の提出による 周知のほか、防犯カメラの映像を検証するとともに、年度末には収集した情報を整理 し、発生箇所や傾向をつかむなど、分析についても実施いたしました。



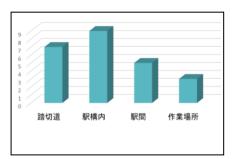
車内防犯カメラ(前面撮影)



防犯カメラ映像の検証



ヒヤリハット原因



ヒヤリハット発生箇所

#### (7)外部講習会等への参加

外部講習会および各種会議へ積極的に参加し、スキルアップを図るとともに、安全マネジメントの浸透を図りました。

このほか、乗務員および管理者の教育を実施し、輸送の安全に関する取り組みを行っています。

2018年度参加講習会名	主催	実施月	参加人数
運転設備研修講座	運転協会	5月	1名
運転理論講習会	運転協会	8月	1名
運転法規研修講座	運転協会	9月	1名
運転関係指導者講習会	運転協会	10月	1名
運輸安全マネジメントセミナー	運輸局	11月	1名
運転業務管理ゼミナール	運転協会	2月	1名
運輸安全マネジメント内部監査ブラッシュアップセミナー	民鉄協	2月	1名

## 5. ご利用のお客様、沿線の皆様との連携とお願い

#### (1) 鉄道に親しみを持っていただくために

日頃鉄道をご利用頂いているお客様や地域の皆様への感謝とともに、鉄道に対する ご理解を一層深めていただけるよう、地域の皆様や地元警察にご協力いただき、毎年 3月に新村車両所にて「上高地線ふるさと鉄道まつり」を開催しています。



会場風景



バス展示



高所作業車試乗会



車両展示

#### (2) テロや列車妨害行為等防止へのご協力とお願い

当社では、テロや列車妨害行為の防止を目的とし て、列車内・駅構内・沿線の巡回等を強化するとと もに駅構内に防犯カメラを設置することでより鉄道 輸送の安全確保に努めています。

不審物や不審者等を見かけたときは、鉄道係員又 は警察へ通報をお願いいたします。



防犯カメラ

#### (3) こども110番の駅

当社では、日本民営鉄道協会等と連携し、登下校 時等の安全を確保するため、助けを求めてきた子供 を保護する「こども110番の駅」の取り組みを行 っています。

実施駅:波田駅・新島々駅



©2009 Gullane(thomas)Limited

#### (4) 踏切通行時のお願い

毎年、踏切への無理な進入による遮断かんの折損や踏切内での停滞等が発生しています。踏切事故防止のため、道路交通法に則り踏切の手前では必ず一旦停止の上、左右を確認していただくとともに、警報機が鳴り始めましたら踏切内へ進入しないよう皆様のご協力をお願いいたします。踏切内及びその周辺で異常・非常事態が発生した際は、踏切支障報知装置の「非常ボタン」を強く押してください。

なお、踏切支障報知装置が未設置の踏切で異常・非常事態が発生したときは、すみやかに新島々駅【TEL 0263-92-2511】までご連絡をお願いいたします。

万が一、車が踏切内に閉じ込められた時は遮断かんを押すように車をゆっくり前進させ、そのまま脱出してください。



ゆっくりと押し出すように → そのままゆっくりと前進 → 車全体が出るまで進む

#### (5)線路へ接近しての作業

鉄道線路沿いには高圧電線等が架設されており、電線に接触すると人命にかかわる ほか列車の運休や遅延等が発生し、多くの皆様へのご迷惑となります。また、感電事 故だけでなく線路脇物品の倒壊や鉄道施設の損傷等により、列車の運行に多大な支障 をきたす恐れがあります。

上高地線の近くでの工事をご計画される施主・施工者の皆様におかれましては、お早めにアルピコ交通㈱鉄道事業部【TEL 0263-26-7311】までご連絡をお願いいたします。

#### (6)安全確保のための作業

鉄道の安全を支えていくためには、施設・設備 の日常のメンテナンスが不可欠であり、列車を運 行していない夜間等に作業を行うことがあります。

それらの実施により沿線の皆様にはご迷惑をお掛けする場合がございますが、鉄道の安全確保に欠かせない作業であることをご理解いただきますとともに、何卒ご協力を賜りますよう、お願いいたします。



夜間軌道整備作業

#### 安全報告書へのご意見等について

安全報告書へのご感想、当社の安全への取り組み等に対するご意見をお寄せください。 下記の他、駅窓口や列車内に備付けの「お客様の声はがき」でも承っております。

### アルピコ交通株式会社 鉄道事業部

TEL. 0 2 6 3 - 2 6 - 7 3 1 1 (直通)

■8:45~17:30 (土日祝日を除く)

E-mail ak-tetsudo@alpico.co.jp